

アングローバル、21年春夏から「キタン」

国内外の産地生かす

リーア
デザイン
ウェア
上質
ウ



き平 ジャケット
着用ネット (6万円)
でリネは、欧州の
ス産のジャケット 伝統的な植
セス地のジャ 物由来の染
セラ生地 料による製
ニフリ品染め技術
織る 織でライトプ
ルーに染め

た。米国のドイツ系移民「アー
ミッシュ」のジャケットのパタ
ーンを参考に、襟やポケットな
どのディテールをシンプルにし
たデザインだ。

日本の西協産地による唐棧綿
の綿織物を生かしたジャケット
(5万3000円)は、経糸の

色によつて番手を変え、緯糸で
も異番手を使うことで、縞模様
に独特の奥行きを持たせてい
る。インドの伝統的な男性用カ
シクール「アンガルカ」の羽
織りをベースにしたドレス(6
万3000円)もある。西ベン

ガル地方で手紡ぎし、手織りし
た「ジャムダニ織り」の軽やか
な生地を使用。これには別注で

繊細なオリジナルの文様が入っ
ている。

サステイナブル(持続可能
性)を意識した商品では、エア
バッグの廃材を使用したフラン
ス産のエスパドリーユ(1万2
000円)や、工場で出る残糸
を再利用した国産のマルチボー
ダートップ(1万6000円)
もある。また現在、即納可能な
コロナ対応のマスクを販売。イ
ンド産の綿・シルク複合生地を
表地に使い、肌に触れる裏地は
オーガニックコットンのタプ
ルガーゼを使用している。「夜
洗えば、朝には乾く」速乾性も
訴求ポイントだ。

キタンの21年春夏展は、アン
グローバル・本社ショールーム
(東京・渋谷)で8月7日まで
開催中。8月17、21日にも開催
する。

アングローバルは新ブランド
「キタン」を21年春夏にスター
トする。フランスやインド、日
本で生産した生地や縫製の特徴
を生かして、天然素材を中心と
した上質なデイリーウェアを揃
える。レディースをベースにしな
がらユニセックス対応を意識し
たデザインも特徴だ。「コロナ
禍で市場環境は厳しいが、この
タイミングで新しいブランドを
立ち上げて、それに興味を持っ
て頂ける取引先とは長いお付き
合いができる。その意味で良い
時期にブランドをスタートでき
た」(中田浩史取締役)として
いる。

フランス産のリネン平織りの